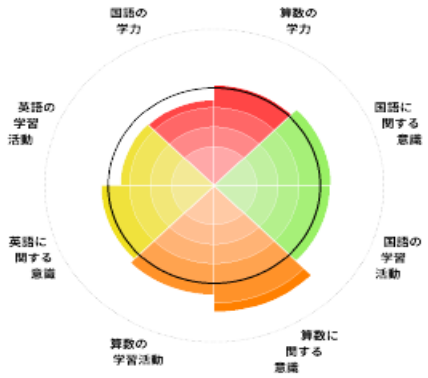
生駒北小学校

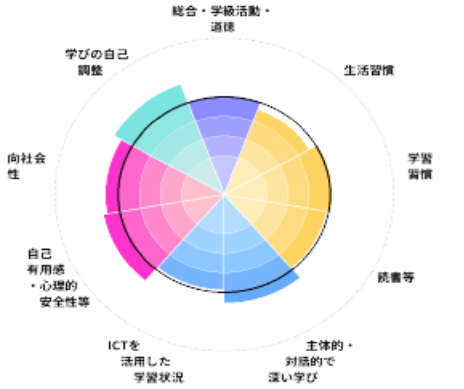
令和８年度　全国学力・学習状況調査結果

この調査は、全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析し教育施策の成果と課題を検証、改善を図ることを目的としているため、教科の平均点の上下で一喜一憂するためのものではありませんが、児童への学習指導の充実や学習状況の改善に役立てる資料になります。今年度の結果を見ながら、子どもたちにつけたい学力が何で、本校はどんなところが苦手なのかを考え、今後の指導に活かしていきたいと思います。

［教科を中心とした学力・学習状況］
（全国基準）

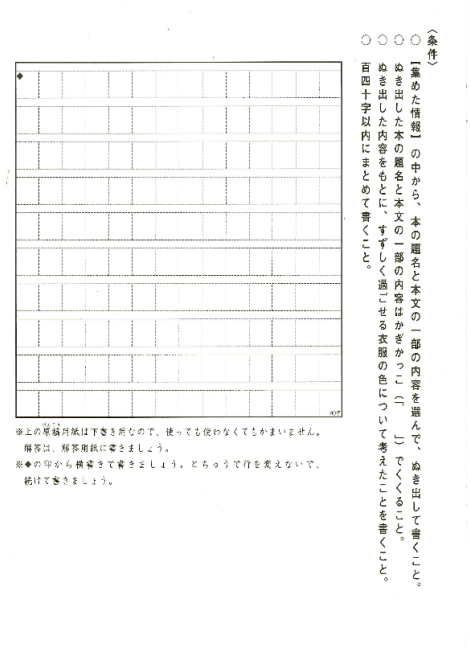


［その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）］
（全国基準）



〇今年度の学力調査で本校児童が苦手とした問題です。

【国語】



四　花山さんは、【集めた情報】をもとに、「すずしく過ごせる衣服の色は何色か」について考えたことを【花山さんの文章の続き】に書いています。あなたが花山さんなら、［　　］に入る内容を、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉
○○○○【集めた情報】の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、ぬき出して書くこと。
ぬき出した本の題名と本文の一部の内容はかぎかっこ「　」でくくること。
ぬき出した内容をもとに、すずしく過ごせる衣服の色について考えたことを書くこと。
百四十字以内にまとめて書くこと。

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。
解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から横書きで書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

【花山さんの文章の続き】

4　すずしく過ごせる衣服の色は何色か

「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、暑そうでもすずしく過ごすことができそうだ。

また、［　　］

5　終わりに

これまでなんとなく選んでいた衣服も、日差しをさえぎるくふうや、衣服の形、着方、色をくふうすることによって快適に過ごせることが分かった。今回分かったことを生かし、これからの生活の中で衣服をくふうしていきたい。

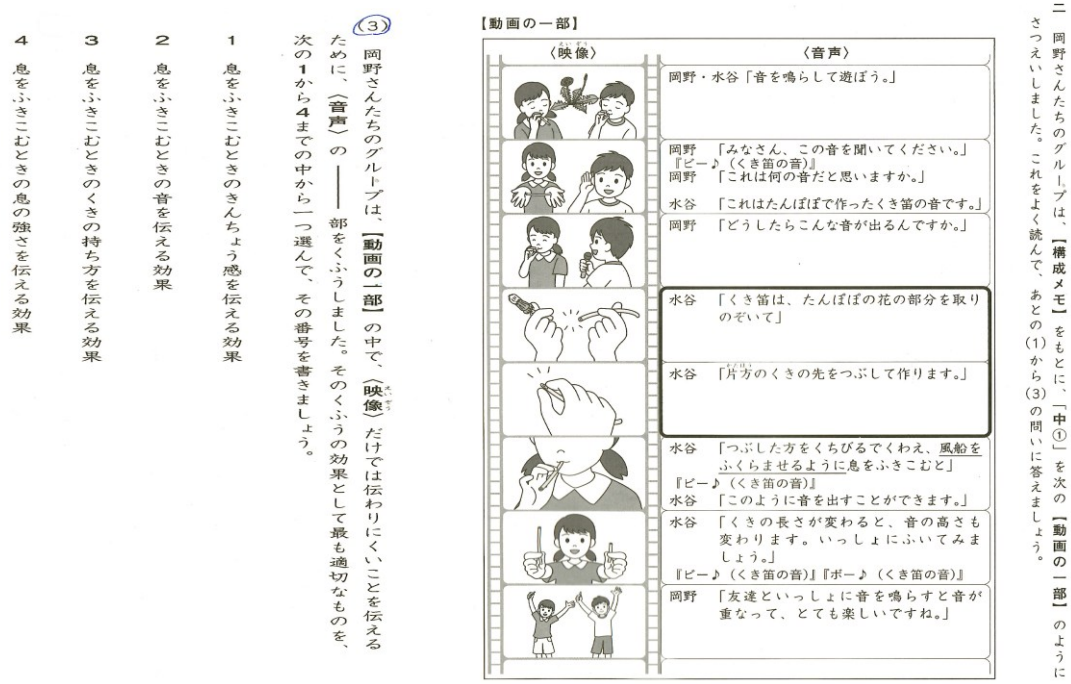
（参考文けん）

【集めた情報】

本の題名	本文の一部
色の効果	青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。赤があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。
生活と太陽	白は熱や光を反しゃする色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。
夏のくらし方	白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。

〇問題２四　文章の続きの内容を【集めた情報】から抜き出して考えが伝わるように〈条件〉に合わせて書く問題でした。正答率としては、本校１７．４、全国３３．５でした。また、無解答率も目立ちました。問題趣旨としては、引用して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかをみる問題でした。

　本校児童の解答では、涼しく過ごせる衣服の色について考えたことは書けているが、集めた情報を使うことを忘れている内容が多かったです。問題文にある４つの〈条件〉を満たして解答することが難しかったと考えられます。



二　岡野さんたちのグループは、【構成メモ】をもとに、「中①」を次の【動画の一部】のようにさつえいしました。これをよく読んで、あとの(1)から(3)の問いに答えましょう。

【動画の一部】

〈映像〉	〈音声〉
	岡野・水谷「音を鳴らして遊ぼう。」
	岡野「みなさん、この音を聞いてください。」 『ピー♪（くき笛の音）』 岡野「これは何の音だと思いますか。」
	水谷「これはたんぽぽで作ったくき笛の音です。」
	岡野「どうしたらこんな音が出るんですか。」
	水谷「くき笛は、たんぽぽの花の部分を取りのぞいて」
	水谷「片方のくきの先をつぶして作ります。」
	水谷「つぶした方をくちびるでくわえ、風船をふくらませるように息をふきこむと」 『ピー♪（くき笛の音）』 水谷「このように音を出すことができます。」
	水谷「くきの長さが変わると、音の高さも変わります。いっしょにふいてみましょう。」 『ピー♪（くき笛の音）』『ポー♪（くき笛の音）』
	岡野「友達といっしょに音を鳴らすと音が重なって、とても楽しいですね。」

(3)　岡野さんたちのグループは、【動画の一部】の中で、〈映像〉だけでは伝わりにくいことを伝えるために、〈音声〉の――部をくふうしました。そのくふうの効果として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1　息をふきこむときのきんちょう感を伝える効果
2　息をふきこむときの音を伝える効果
3　息をふきこむときのくきの持ち方を伝える効果
4　息をふきこむときの息の強さを伝える効果

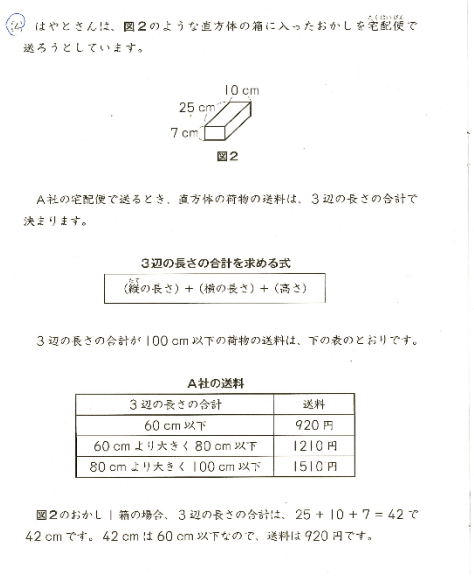
〇問題１ニ（３）〈音声〉の下線部の工夫の効果として適切なものを選択する問題で、出題趣旨としては、比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができるかどうかをみる問題でした。正答率は、本校５２．２で全国は６５．２でした。

　本校児童の解答で多かったのは２を選択している解答が３割、３を選択している解答が２割でした。棒線部の工夫の仕方について問われているのですが、どうしても〈音声〉という単語に反応し〈音〉の文字が入った文を選択してしまっていると考えられます。

☆全体的にみると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「書くこと」に関する項目が苦手であったようです。反対に「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」

に関する項目は全国平均を上回っていました。読書活動等による語彙力や読解力の定着、条件を取り入れた文章づくりなど工夫を取り入れた学習を進めていきます。

【算数】



(4) はやとさんは、図2のような直方体の箱に入ったおかしを宅配便で送ろうとしています。

図2

A社の宅配便で送るとき、直方体の荷物の送料は、3辺の長さの合計で決まります。

3辺の長さの合計を求める式

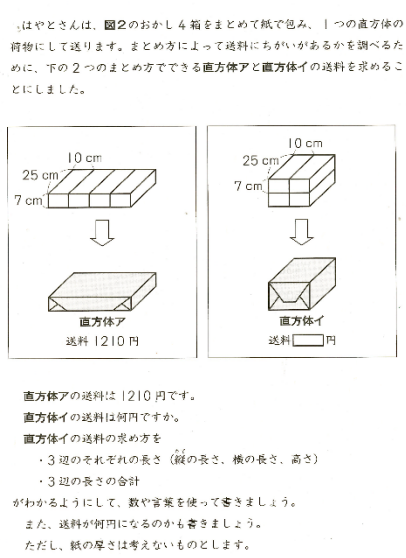
(縦の長さ)＋(横の長さ)＋(高さ)

3辺の長さの合計が100 cm以下の荷物の送料は、下の表のとおりです。

A社の送料

3辺の長さの合計	送料
60 cm以下	920円
60 cmより大きく80 cm以下	1210円
80 cmより大きく100 cm以下	1510円

図2のおかし1箱の場合、3辺の長さの合計は、25＋10＋7＝42で42 cmです。42 cmは60 cm以下なので、送料は920円です。



はやとさんは、図2のおかし4箱をまとめて紙で包み、1つの直方体の荷物にして送ります。まとめ方によって送料にちがいがあるかを調べるために、下の2つのまとめ方でできる**直方体ア**と**直方体イ**の送料を求めることにしました。

直方体アの送料は1210円です。
直方体イの送料は何円ですか。
直方体イの送料の求め方を
・3辺のそれぞれの長さ(縦の長さ、横の長さ、高さ)
・3辺の長さの合計
がわかるようにして、数や言葉を使って書きましょう。
また、送料が何円になるのかも書きましょう。
ただし、紙の厚さは考えないものとします。

○問題1(4)4つの箱のまとめ方によって宅配便の送料に違いがあるかを調べるために、直方体イの送料の求め方とその答えを書くという問題でした。出題の趣旨としては、日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の3つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述できるかをみることでした。

正答率としては、本校児童は52.2で全校では40.1でした。正答の条件としては、①直方体イの3辺のそれぞれの長さを表す数や言葉②直方体イの3辺の長さの合計を表す数や言葉を書き、送料を920円と書いていることでした。本校児童の解答で多かったのは、条件①または②のどちらかのみ書いてあるもの、図2の直方体の3辺の長さの合計を書いてあるものでした。

(3) AとBの２つのペンギンの広場があります。
下の表は、広場にいるペンギンの数と広場の面積を表しています。



広場にいるペンギンの数と広場の面積

	ペンギンの数（羽）	面積（m²）
A	10	20
B	12	30

ことねさんは、どちらの広場の方がこんでいるのかを調べるために、下の計算をしました。

【ことねさんの計算】

A　10 ÷ 20 ＝ 0.5
B　12 ÷ 30 ＝ 0.4

【ことねさんの計算】をもとに、どちらの広場の方がこんでいるのかについて、下のようにまとめます。
下のアとイ、ウとエの中から、正しいものをそれぞれ選んで、その記号を書きましょう。

【ことねさんの計算】は［ア　1m²あたりのペンギンの数／イ　1羽あたりの面積］を求めています。
商を比べると［ウ　商が大きいAの広場／エ　商が小さいBの広場］の方がこんでいることがわかります。

問題２（３）ペンギンがいる二つの広場の混み具合を求める式の意味について、正しいものを選ぶ問題でした。出題の趣旨としては、単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるのかについて判断できるかどうかをみるものでした。

正答率は本校 30.4 で全国 36.1 でした。本校児童の解答で多かったのは、イウの選択でした。ペンギンの数÷面積の答えは、１㎡あたりのペンギンの数になるということが理解できていないようでした。

☆全体的にみると、奈良県より１ポイント、全国より０．６ポイント上回っており、よくできていました。領域でみると、データの活用のみが苦手であったようで、算数科のみだけはなく、社会科のデータ資料の読み取りなど教科横断的な学習を取り組んでいきます。

【児童質問紙から】

〇「自分には、よいところがある」「人の役に立つ人間になりたいと思う」「地域や社会をよくするために何かしてみたい」の項目では、全国や奈良県よりも高い数字でした。本校は、地域の方々との交流が盛んであり、地域の皆様との距離も近いです。そんな中で育つ子どもたちには、お世話になっている地域の方々への魅力や憧れを感じているはずです。これからも、自分たちが成長させてもらっている地域や社会に貢献できる子どもたちに育ってくれることを願います。

〇「分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていますか」という質問に対し、肯定的な回答が全国と比べても高かったです。主体的で対話的な学びの学習を進めている結果が表れてきていると思っています。

　引き続き、生駒市教育大綱 に準じて授業改革に取り組み、学校教育目標実現に向けて、研鑽、実践を積んでいきます。これからも、保護者の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、子どもたちの学びと成長 を支えてまいります。引き続き、学校教育活動を温かく見守っていただければ幸いです。